



展示された絵画を鑑賞する来場者
(やぶ文化祭)

日ごろの活動成果を披露

各地域で文化祭を開催

毎年、地域で開催されている市民文化祭が10月下旬に各公民館を中心に行われました。台風23号による被害が大きかった八鹿地域では中止となりましたが、このほかの地域では芸能発表や作品展示など日ごろの活動が披露されました。

芸能発表に出演したみなさんは、自慢の歌声や稽古の成果を発揮して会場を沸せました。作品展示ではレベルの高い絵画や書道、生け花など、それぞれの力作が展示されました。

また、生活用品のバザーや小中学生による吹奏楽の演奏会など会場では多彩な催しも開かれ、地域ぐるみで芸術文化活動の向上が図られました。

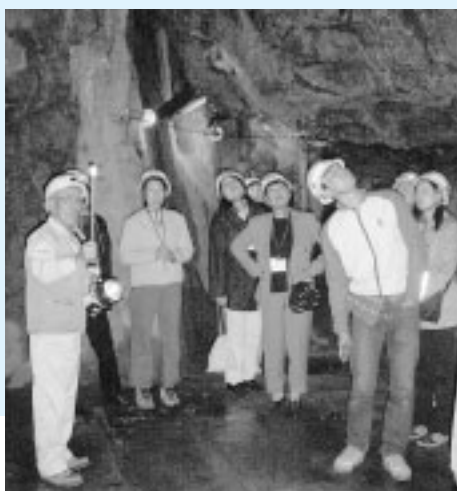
産業遺産を活用して地域活性化

3鉱山を巡るモニターツアーに30人が参加

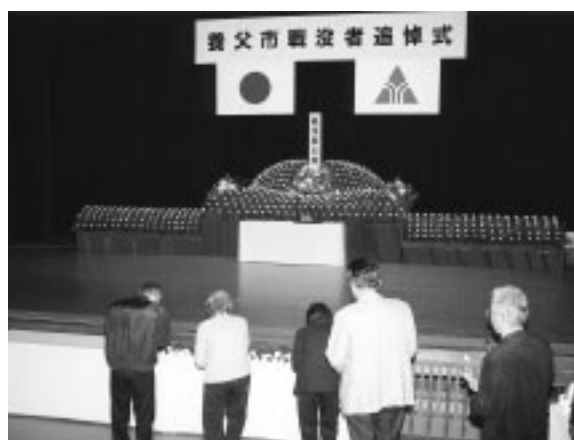
鉱山や選鉱場、製錬所として栄えた明延、神子畑、生野を訪れるモニターツアー「鉱山町と近代化遺産を巡る大人の修学旅行」(養父市、朝来町、生野町など主催)が11月6・7日に行われ約30名が参加しました。

同ツアーは、明治初期より大規模で先端的な鉱山開発が行われた明延、神子畑、生野の3鉱山に残る産業遺産を活用して、地域の活性化を図ろうと企画したものです。一行は、明延鉱山探検坑道、大仙選鉱場跡、神子畑鑄鉄橋、ムーセ旧居、金香瀬坑道、旧鉱山官舎など、普段見学できない名所を興味深そうに巡っていました。

神戸市から参加した山本さち子さんは、「中学生のころ、鉱山見学したのが懐かしくて応募しました。特に大仙選鉱場は、古びた建物が自然と調和しており、崇高な雰囲気を感じていますね」と話していました。



坑道を興味深そうに見学する参加者



献花をする遺族のみなさん

戦没者のご冥福を祈る

市戦没者追悼式に600人が参列

先の大戦によって命を落とされた戦没者のご冥福を祈るため養父市戦没者追悼式が11月19日、八鹿文化会館ホールで挙行されました。当日は、ご遺族ら600人が参列する中、養父市長職務代理者の和田金男養父市助役が「謹んで哀悼の意を表します。戦争の悲惨さを次世代に語り継ぎ、恒久平和を確立するために地域からの取組みを進めてまいります」と式辞を述べ、また多くの来賓の方が追悼のことは捧げられました。

続いて、参列者一人ひとりが献花した後、北近畿歌謡学院のみなさんが追悼の歌を捧げ、出席者全員で戦没者のご冥福をお祈りしました。